

領域	保健体育（保健）	学年	高1	単元名	エイズ・性感染症の予防
ねらい	エイズ・性感染症の感染を予防するために、個人及び社会ができることについて理解することができる。				
評価規準	エイズ・性感染症の予防対策について、個人及び社会の両面から理解している。（発言・ワークシート）				
過程	時間	学習内容・活動			指導上の留意点
導入	10	1 HIVやエイズについて既習事項を確認する。			・エイズは身体の免疫機能を破壊すること、主に性的接触で感染すること等について確認する。
展開	35	<p>課題：エイズや性感染症の現状から、感染を予防するためにできることを考えよう。</p> <p>2 資料から、日本や岐阜県のHIVや性感染症の感染者の状況について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本では、新規感染者が毎年1000人以上報告されている。 今までは、他人事であったが、岐阜県でも感染が続いていて、身近な問題である。 性感染症の予防対策が十分でない。 <p>3 エイズ・性感染症の予防対策について調べ、交流する。</p> <p>発問：エイズ性感染症を予防するためにできることを考えよう。</p> <p>教科書や厚生労働省HPから、個人の対策と社会の対策について考える</p> <p>（個人の対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症について、正しい知識をもち、感染の予防に努める。 性的接触があるということは、感染の危険性があることを認識し、交際相手と一緒に検査を受けに行くようにする。 <p>（社会の対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界エイズデーを機会に、無料検査の実施や相談窓口の紹介等についてイベントを行う。 ポスターやパンフレットを配付し、エイズや性感染症について、啓発活動を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県の現状から、身近な問題としてとらえるようにする。 感染経路が明確な性感染症は、ある程度予防可能であるにもかかわらず、毎年1000人程がHIVに感染していることから、どうしたら防ぐことができるのか考えるようにする。 「特定の相手としか性的接触をしない」としている生徒に、性的ネットワークの概念等から、相手がどうか分からないことについて触れ、必ず安全であるとは言えないこと理解できるようにする。 相手が大切であれば、どのような行動をとるとよいのか考えさせる。 無料検査が実施されていることから、どうすれば検査をする人が増えるのか聞き、社会の対策を考えるようにする。
		まとめ	5	4 交流をもとに、自分が大切にすることを整理する。	
<p><配慮事項></p> <p>○調べる際には、厚生労働省のHPや教科書をもとにする。</p> <p>○予防には、個人の対策と社会の対策があることを理解し、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であることを理解させる。</p>					